

第39回 人文機構シンポジウム

江戸時代の 台風コース 復元と 都市災害

気候学・考古学・文献史学の協同

令和3年

10月9日(土) 13:00-16:00

コモレ四谷タワーコンファレンス
Room F

参加無料／要事前申込(定員50名)

※緊急事態宣言下及びまん延防止等重点措置を実施すべき区域に指定された場合、会場参加を中止し、
ライブ配信での参加情報をご案内いたします。予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

ライブ配信:Zoomウェビナー

要事前申込(定員300名)

発表者

石神 裕之

京都芸術大学 教授

平野 淳平

帝京大学 准教授

渡辺 浩一

国文学研究資料館 教授

コーディネーター

日高 真吾

国立民族学博物館 教授



上から「洲崎波除石垣試掘調査報告・旧八幡掘調査報告」(江東区教育委員会) / 2019年10月10日15時時点の台風19号雲画像(国立情報学研究所「デジタル台風」) / 安政風聞集「大橋手前河岸之図」(国立公文書館デジタルアーカイブズ)



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構

主催:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

後援:文部科学省

江戸時代の台風コース復元と都市災害

— 気候学・考古学・文献史学の協同 —

地球温暖化が進行するなか、極端な気象現象が頻発するようになった。2018年西日本豪雨、2019年台風19号、2020年球磨川氾濫などが、日本におけるその表れである。これらの気象現象により、私たちは大きな被害を受けた。こうした問題に対応するには、防災の面でも、またより長いスパンでの未来への展望を考えるうえでも、過去の台風被害の様相と原因と前提条件を明らかにすることは必要である。

折しも、気候学では江戸時代の台風コース復元が進んでいる。江戸の考古学研究も、近現代の地盤沈下や都市開発などで著しく変化してしまった江戸のなかの微地形を復元することができるようになった。こうした新知見を活用すると、古文書から判明する江戸の台風被害の様相も、よりよく理解できるようになる。

今回は、気候学・考古学・文献史学という三つの異なる研究分野の融合により明らかにできた最新の研究を、1856年安政東日本台風を中心として、わかりやすく紹介したい。



いし ひろゆき
石神 裕之
京都芸術大学
教授

学生時代より都市再開発に伴う発掘調査に従事し、文化財の保存・活用に関心を持っている。博士(史学[慶應義塾大学])。著書に『近世庚申塔の考古学』(慶應義塾大学出版会 2013年)、『147都道府県 遺跡百科』(丸善出版 2018年)などがある。



ひら の じゅんぺい
平野 淳平
帝京大学
准教授

学生時代より歴史気候学の研究を行っている。特に19世紀の台風コースや気圧配置パターンの復元・分析に関心を持っている。博士(理学[首都大学東京])。著書に『Environment and Society in the Japanese Islands: From Prehistory to the Present』(Oregon State University Press, 2015年 分担執筆)などがある。



わたなべ こういち
渡辺 浩一
国文学研究資料館
教授

近世都市の社会構造分析を専門とする。最近は災害史研究を行っている。単著に『江戸水没—寛政改革の水害対策』(平凡社 2019)、共編著に『近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害—』(勉誠出版 2020)がある。



ひだか しんご
日高 真吾
国立民族学博物館
教授

保存科学の視点から、近年は、民俗資料の保存と活用の在り方について研究をおこなう。博士(文学)。主な著書に『災害と文化財—ある文化財科学者の視点から』(千里文化財団 2015年)、編著書に『継承される地域文化—災害復興から社会創発へ』(臨川書店 2021年)がある。

プログラム

13:00	・挨拶 平川 南 (人間文化研究機構長)
13:05	・趣旨説明 渡辺 浩一 (国文学研究資料館 教授)
13:20	・講演 1 石神 裕之 (京都芸術大学 教授) 「発掘からわかる江戸の自然改造と都市空間」
13:50	・小休憩
14:00	・講演 2 平野 淳平 (帝京大学 准教授) 「歴史気候資料による台風経路の復元」
14:30	・講演 3 渡辺 浩一 (国文学研究資料館 教授) 「1856年安政東日本台風の被害と江戸の対応」
15:00	・小休憩
15:10	・ディスカッション 日高 真吾 (国立民族学博物館 教授) 講演者 3 名
15:55	・閉会挨拶 永村 真 (人間文化研究機構理事)

関連プロジェクト

- 広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」
- 人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的な研究
- 日本学術振興会・科学研究費・基盤 B「自然と人間の相互関係史としての近世都市災害研究」

申込方法

以下のウェブサイトからお申し込みください。
〈人文機構 HP〉
<https://www.nihu.jp/ja/event/symposium/39>



お問合せ

第39回 人文機構シンポジウム事務局

TEL : 03-3528-9841 (代表)
E-mail: nihu-sympo39@adthree.net

アクセス

コモレ四谷 タワーコンファレンス Room F
東京都新宿区四谷 1-6-1 コモレ四谷 四谷タワー 3 階
■ JR 中央線・中央・総武線「四ツ谷駅四ツ谷口」から徒歩 2 分
■ 東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅 3 番出口」から徒歩 2 分

